

子育て世帯の新常識は顔見知りの頼り合い！ AsMama の子育てシェア会員、20,000 人を突破！

顔の見えるリアルな地域交流の場づくりと顔見知り同士が子どもの送迎や預かりを気兼ねなく頼り合えるオンラインの仕組み「子育てシェア」を開発・運営する株式会社 AsMama(代表取締役社長、甲田恵子、以下「AsMama」)は、登録会員数が 20,000 人を突破しましたことをお知らせいたします。2013 年 4 月に同サービスをリリースし、年間延べ 300 万組を超える子育て世帯とのダイレクトなコミュニケーションを図りながら見聞きする実態ニーズに即して日進月歩利便性や安全性の向上に努めております。会員は、ワーキングピアレントから専業主婦までさまざま、北海道から沖縄まで全国各地でそれぞれの支援ニーズに応じて多様な利用のされ方をしています。

※支援依頼の例

- ・電車の遅延時の保育園へのお迎え(ワーキングピアレント)
- ・子どもの体調不良時(ワーキングピアレント)
- ・保護者の体調不良時(専業主婦)
- ・育児のリフレッシュ(専業主婦)

本サービスの大きな特徴は、**支援謝礼を 1 時間 500 円とし、登録料も手数料も一切無料**であるにもかかわらず、**全支援者に賠償責任保険が適用されている**ということや、**知らない人には繋がれない仕組み**や知人友人故に発生しがちな気遣いを系統的に排除した設計になっていることです。そのため保育園等を含め、馴染みのないところに子どもを預けることに抵抗のある人も、支援が必要な時に都合がつか顔見知りをみつけることが出来ると好評です。

本年春に起きた顔も知らないベビーシッターに預けたことによる事件や、それでもなお女性の活躍支援が緊迫の社会ニーズとなっている事実等を受けて、顔見知り同士でしか繋がれないような認証システムを機能追加したり、育児と仕事の両立支援に取り組む企業との連携による従業員同士や従業員とその家族が信頼できる人同士の共助促進に取り組むなど、社会の声を反映する形で事業を遂行しています。

今後も AsMama では、現役のお父さん・お母さんたちの託児ニーズに応えられるインフラとして普及させるべく、実際に顔が見える地域交流の場づくりや地域の子育てをお世話する支援者と親子が知り合う機会を創り続けると共に、不動産会社や習い事などの既存コミュニティを持つ企業との連携を図り、活用の促進を行ってまいります。

【子育てシェアとは？】

- ・子どもが同じ園(保育園・幼稚園・小学校)の親同士や、従来から子育てを通じた知り合い同士がつながり、送迎や託児を 1 時間 500 円から頼り合えるオンラインサービス。支援者不在の場合は託児研修を受けた AsMama 公認子育て支援有志者「ママサポーター」が面談依頼を提案する。
- ・依頼者は支援者に謝金(500 円~700 円/時)を現金かカード決済で支払言える(手数料無料)。
- ・損害賠償保険が全支援者に最高 5 千万円まで適用される。

◆◆◆ 本リリースに関するお問い合わせ ◆◆◆